

事業コード	0060102	政策コード	03	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略						
事業名	ハタハタ資源対策強化事業	施策コード	06	施策名	つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興						
		指標コード	01	施策目標(指標)名	つくり育てる漁業の推進による水産資源の維持・増大						
部局名	農林水産部	課室名	水産漁港課	班名	漁業管理班	(tel)	1892	担当課長名	大山 泰	担当者名	山田 美沙登
評価対象事業の内容											
1－1．事業実施の背景（施策目標の達成のためになぜこの事業が必要であったのか）				5．前回評価における指摘事項等							
平成7年までの3年間のハタハタ全面禁漁後は、「秋田県ハタハタ資源対策協議会」において定めた漁獲枠に基づき資源管理を実践し、ハタハタ資源量は順調に回復していたが、平成20年以降は減少傾向を示した。漁業者は、資源管理の取組を継続して行っているものの、いまだ、資源量の十分な回復に至っていない。そのため、ハタハタ資源量を再び増大させ、安定した漁獲量の確保や漁家経営を維持する対策が必要であった。				①指摘事項		なし					
				②指摘事項への対応							
1－2．外部環境の変化及び事業推進上又は完了後に明らかになった問題点				6．事業の内容							
ハタハタ資源量は十分に回復していないため、事業の継続が強く望まれている。ハタハタ資源量の減少と、地区による親魚の来遊数の偏りにより、事業に使用する放産卵の確保が困難な地区もある。											
2．住民満足度の状況(事業終了後に把握したもの)				①事業概要及び推進状況							
①満足度を把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民（時期： R03 年 03 月）				県内の主要漁港等で漁業者により実施される放産卵を利用したふ化放流に対し支援した。また、小型魚の通り抜けが可能のように目合いを拡大した改良定置網の製作及び、それを用いた試験操業を実施し資源保護効果を検証するとともに、実用化に向けた啓発を図った。加えて、秋田県漁協の各支所からタブレット端末等を介して入力された当日の水揚げデータを、県が集約し漁獲管理データや市場への提供情報として活用するための導入準備を行った。							
②満足度の把握方法 □ アンケート調査 ■ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法（具体的に）											
③満足度の状況											
ハタハタ資源は依然として低位にあり、資源回復のための増殖事業や漁獲量管理による取組の重要性は増しているため、漁業者からは継続的なハタハタ資源管理対策の実施を要望されている。また、沿岸漁業と同様に、沖合漁業についても資源管理対策が望まれている。											
3．事業目的（どういう状態にしたかったのか）				②事業費等							
減少傾向にあるハタハタ資源の再生を図り、正確な資源管理と市場の荷受け管理による適正価格を維持し、漁業者の安定した漁業収入を確保するとともに、県民をはじめとする消費者や加工業者に十分な量のハタハタを供給できる。				単位（千円）							
				内 訳		当初計画事業費		最終事業費			
4．目的達成のための方法				ふ化放流による資源増産対策推進事業		22,500		22,500			
				改良小型定置網による資源管理対策事業		11,169		9,494			
①事業の実施主体				I C T導入による漁獲情報の集約・伝達システム構築事業		721		417			
						0		0			
②事業の対象者・団体						0		0			
				漁業協同組合、漁業者							
③達成のための手段				事業費計		34,390		32,411			
				財源内訳		34,390		32,411			
放産卵（漂着卵又は漁網付着卵）を利用したふ化放流により、ハタハタ資源量の回復を目指す。単価の低い小型魚（1歳魚）を保護し、翌年以降の単価の高い中・大型魚の漁獲による漁家経営の安定を目指す。漁獲量管理のほか、魚価の低下を抑制するため、I C T導入による漁獲物に係る流通情報の集約・発信の導入を目指す。				国庫補助金		0		0			
				県債		0		0			
				その他		0		0			
				一般財源		34,390		32,411			
③当初計画及び最終の事業費比較											
				最終事業費／当初計画事業費 =(0.94)							

7. 事業の効果及び課題の改善状況										所管課の評価		評価結果
ふ化放流については、目標以上のブリコを集めて放流につなげることができている。また、目を拡大した改良小型定置網が導入され、小型魚（1歳魚）の保護に資することができ、小型魚の選別にかかる労力も軽減することができた。										有効性の観点	住民満足度の状況 ○a ●b ○c	○A ●B ○C
											【b又はcの場合の分析】 ハタハタの資源回復のため、ふ化放流する稚魚を増やしたり、小型魚の保護を実施してきたものの、環境変動等による資源の減少が大きく響いており、県内需要を十分満たすだけの漁獲が可能な資源量まで回復していない。	
											事業の効果 適用の可否 ● 可 ○ 不可 ●a 達成率100%以上 ○b 達成率80%以上100%未満 ○c 達成率80%未満	
8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み												【b又はcの場合の理由】
指標Ⅰ	指標名	ハタハタふ化放流量							指標の種類			
	指標式	ハタハタ卵塊（ブリコ）管理重量（kg）							○成果指標 ●業績指標			
	①年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 ○ 該当 ● 非該当											
	指 標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	全体			
	目標a	0	0	0	0	300	300	300	900			
	実績b	0	0	0	0	585	1,484	1,010	3,079			
	b/a					195%	494.7%	336.7%	342.1%			
②データ等の出典		補助事業実績報告										
③把握する時期		● 当該年度中 03月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月										
指標Ⅱ	指標名	ハタハタ小型漁保護対策							指標の種類			
	指標式	改良定置網による実証試験操業の実施網数							○成果指標 ●業績指標			
	①年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 ○ 該当 ● 非該当											
	指 標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	全体			
	目標a	0	0	0	0	3	4	4	11			
	実績b	0	0	0	0	4	3	4	11			
	b/a					133.3%	75%	100%	100%			
②データ等の出典		委託事業報告書										
③把握する時期		● 当該年度中 03月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月										
◎指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法												
①指標を設定することが出来なかった理由												
②成果（見込まれる効果）												
										総合評価	評価結果の類似事業への反映状況等(対応方針)	
										総合評価	政策評価委員会意見	

終了事業事後評価判定点検表

(様式5-1)

(1)各評価項目の判定基準

観 点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	1		A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1～3点) C:有効性は低い (0点)	
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目的の達成状況	a 目標値に対する達成率が全て100%以上	2	2		1次 2次	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 目標値に対する達成率のいずれかが80%未満	0				
	計		4	3		B	
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	a 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値(注)が全て1.0以上	2	1		A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値のいずれかが0.8未満	0			1次 2次	
	計		2	1		B	

(注) 事業経済性の算定式

$$\left(\frac{\text{事業終了後の効果} - \text{最終事業費}}{\text{当初計画時の効果} - \text{当初計画時事業費}} \right)$$

上式で、効果とは事業の効果を把握するために設定した指標の実績値をいう。なお累積の実績値を設定している場合は、前年度からの差し引きによる「単年度増加分」を実績値として用います。

(2)総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	B	
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		